



山形県感染症発生動向調査

平成30年第16週(4月16日～4月22日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年4月25日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~16週
	第15週	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	8211 1.66	301 6.27	310 6.46	△	131 6.55	102 5.10	▽	24 4.80	36 7.20	△	104 ◎10.40	138 ◎13.80	△	42 3.23	34 2.62	▼	15830
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1279 0.40	29 0.97	36 1.20	▲	15 1.15	2 0.15	▽				14 2.33	34 5.67	△				240
咽頭結膜熱	741 0.23	5 0.17	15 0.50	△	1 0.08	3 0.23	△				4 0.67	11 1.83	△		1 0.13	△	221
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6924 2.19	74 2.47	112 3.73	▲	43 3.31	53 4.08	▲	3 1.00	11 3.67	△	21 3.50	35 5.83	▲	7 0.88	13 1.63	▲	1933
感染性胃腸炎	15803 5.00	142 4.73	224 7.47	▲	62 4.77	118 9.08	▲	27 9.00	32 10.67	△	21 3.50	24 4.00	△	32 4.00	50 6.25	△	2206
水痘	890 0.28	11 0.37	9 0.30	▽	2 0.15		▼		1 0.33	△	9 1.50	6 1.00	▽		2 0.25	△	195
手足口病	734 0.23	12 0.40	7 0.23	▽	10 0.77	6 0.46	▽	1 0.33		▽	1 0.17	1 0.17					231
伝染性紅斑	282 0.09	3 0.10	9 0.30	△	1 0.08	1 0.08					2 0.33	8 1.33	△				75
突発性発しん	1548 0.49	19 0.63	18 0.60	▽	5 0.38	1 0.08	▽	1 0.33	1 0.33		8 1.33	7 1.17	▽	5 0.63	9 1.13	▲	217
ヘルパンギーナ	83 0.03	3 0.10		▽	3 0.23		▽										29
流行性耳下腺炎	478 0.15	1 0.03	5 0.17	△					2 0.67	△	1 0.17	1 0.17			2 0.25	△	45
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	21 0.03																
流行性角結膜炎	500 0.72		1 0.13	△		1 0.25	△										15
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	197 0.41	1 0.10	4 0.40	▲		3 0.75	△	1 1.00	1 1.00								16
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	53 0.11		3 0.30	△		3 0.75	△										47
細菌性髄膜炎	8 0.02																4
無菌性髄膜炎	12 0.03		1 0.10	△											1 0.33	△	3

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2				
レジオネラ症	患者			1		
百日咳	患者	2				ワクチン接種歴:不明 2件。成人 2人。
梅毒	患者				1	※第15週追加報告分。

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型:239件、B型:67件、不明:4件でした。

集団発生は、村山地区 5件(幼稚園・保育所:1、小学校:2、中学校:1、福祉施設:1)、最上地区1件(福祉施設:1)、

置賜地区 4件(幼稚園・保育所:1、小学校:3)、庄内地区1件(小学校:1)でした。

※トピックスで、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	3	11	30	23	23	30	19	18	18	28	35	4	7	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	13	13	4	17	7	6									310
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		4	13	7	9	2	1								36
咽頭結膜熱		1	3	6	3			2							15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	4	5	9	19	24	19	11	9	3	4		3	112
感染性胃腸炎	2	21	35	35	31	19	25	4	12	5	7	18		10	224
水痘			1	3	2	1			1			1			9
手足口病		1	3	2	1										7
伝染性紅斑			1	2		2		2	1	1					9
突発性発しん		8	9		1										18
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎					1	1	1				1	1			5

< 平成30年3月 月報 >

2018年4月18日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～3月	
	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	19	22	9	4	7	11		2	3	5	60
	定点当り	1.90	2.20	2.25	1.00	7.00	11.00		1.00	1.00	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	11	8	1	2	4	2	3	3	3	1	28
	定点当り	1.10	0.80	0.25	0.50	4.00	2.00	1.50	1.50	1.00	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1				1	1	1	8
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25				0.50	0.33	0.33	
淋菌感染症	報告数		4		1						3	7
	定点当り		0.40		0.25						1.00	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	9			1	2	2	2	3	5	18
	定点当り	0.60	0.90			1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	21	5	13		1	2	1	6	6	54
	定点当り	1.30	2.10	1.25	3.25		1.00	1.00	0.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

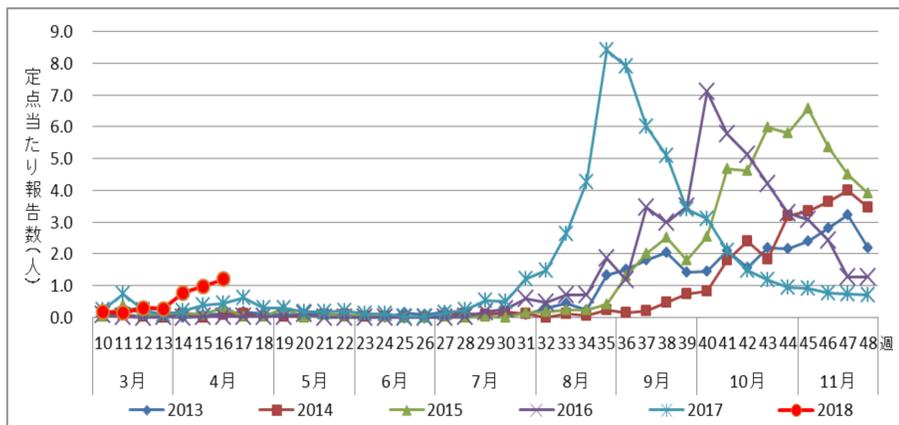
<トピックス>

【RSウイルス感染症情報】

RSウイルス感染症の置賜地区の定点あたり報告数が、例年に比べて多いレベルで推移しています。冬に流行することの多い感染症ですが、近年は流行の開始時期が早まる傾向があるため、注意が必要です。

・第16週 定点あたり報告数 (山形県:1.20人)
村山:0.15人、最上:0.00人、置賜:5.67人、庄内:0.00人
※警報・注意報の基準値は設定されていません。

・RSウイルス感染症 定点あたり報告数 (山形県)



RSウイルス感染症は、乳児によくみられる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は4～6日、症状は軽い風邪様の症状から肺炎まで様々です。2歳までにほぼ100%の人が感染し、生涯にわたり何度も感染と発症を繰り返します。初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に新生児や生後6ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

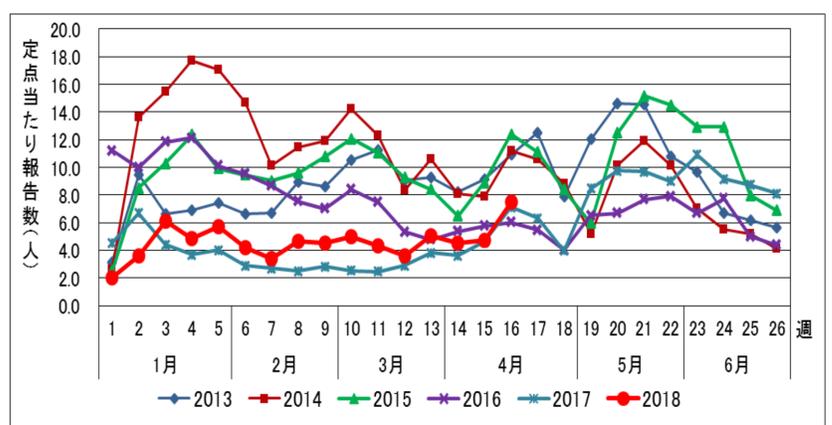
感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染などがあります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。

【感染性胃腸炎情報】

第16週の県平均定点あたり報告数は、7.47人であり、第15週と比較し、1.6倍となりました。2018年で最も多い報告数となっています。

・感染性胃腸炎
警報開始基準値:20人 警報終息基準値:12人
・第16週 定点あたり報告数(山形県:7.47人)
村山:9.08人 最上:10.67人 置賜:4.00人 庄内:6.25人

・感染性胃腸炎 定点あたり報告数 (山形県)



感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。病原体によって異なりますが、嘔吐、下痢、発熱が主な症状です。予防のためには「流水・石鹼による手洗い」が最も効果的です。こまめな手洗いを心がけましょう。

※第15週の週報のトピックスに誤りがありました。山形県の2016年度の麻疹ワクチン第2期の接種率は94.5%でした。訂正してお詫び申し上げます。